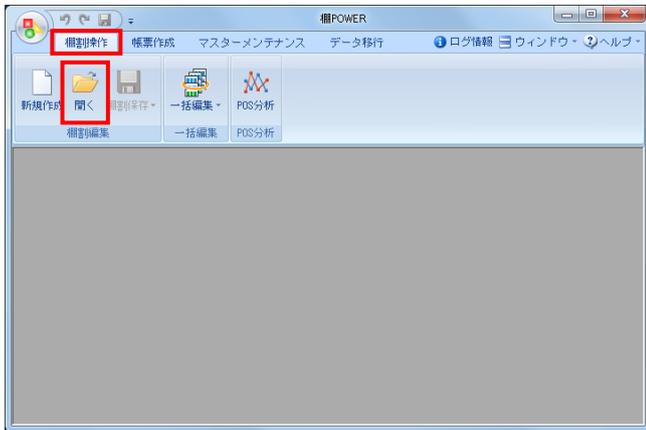


I. 棚割モデルを立体的に表示する

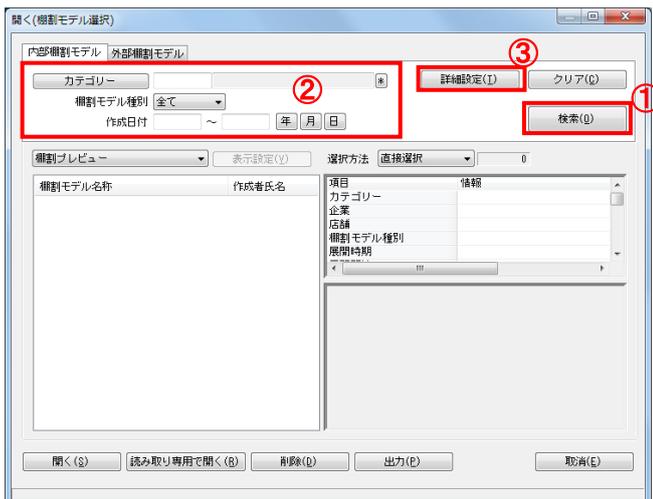
この「操作テキスト 一括編集・応用編」では、作成した棚割モデルを立体的に表示する方法や、複数の棚割モデルに対して一括でモデル名称を変更したり、棚割モデルを削除したり複写したり、また陳列商品を入れ換えたりというように、1つの棚割モデルではなく複数の棚割モデルに対して実施できる機能を中心に説明します。

3D表示では、作成した棚割モデルを立体的に表示して確認したり、3D表示した棚割モデルを印刷したり、画像ファイルとして保存したりすることができます。

立体的に表示することで、複数什器をコの字型やL字型に配置して実際の売場でどのように見えるかを確認できます。

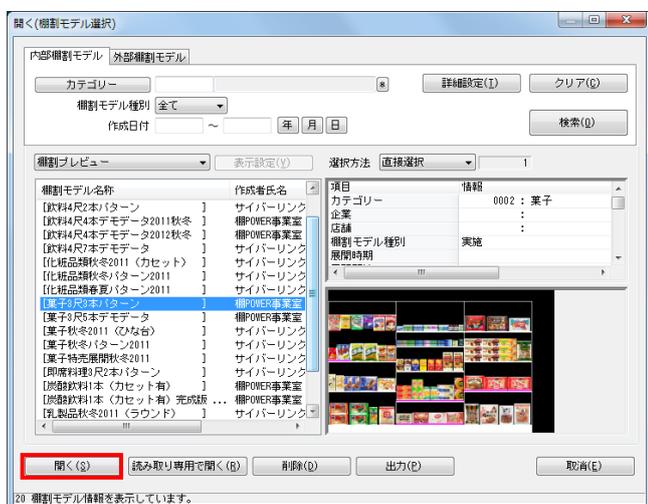


1. 3D表示を行なう棚割モデルを選択します。
[棚割操作] タブ [開く] をクリックします。



2. [検索] (①) をクリックして棚割モデル一覧を表示します。この時 [カテゴリー] や [作成日時] を選択して呼出す棚割モデルを絞り込むことができます(②)。

棚割モデル名称や共通商品コードなどで検索する場合は [詳細設定] (③) より選択、検索できます。



3. 対象の棚割モデルをクリックして選択し、[選択] ボタンをクリックします。

参考

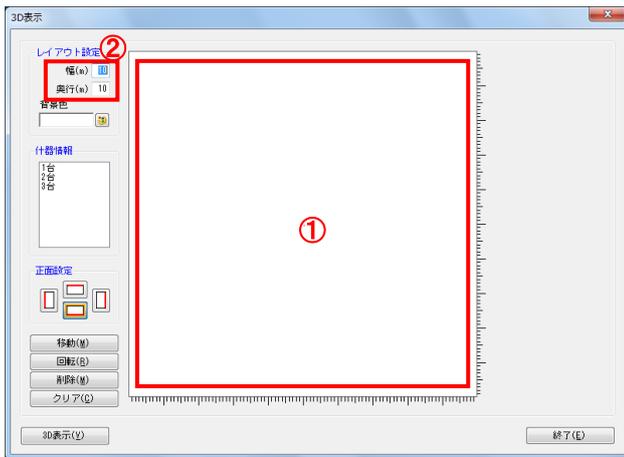
外部棚割モデルを対象にする場合は、[外部棚割モデル] タブに切り替えて、フォルダマークより保存場所を指定し、ファイル形式を選択して [検索] ボタンをクリックしてください。

4. [棚割操作] タブ [3D表示] をクリックします。



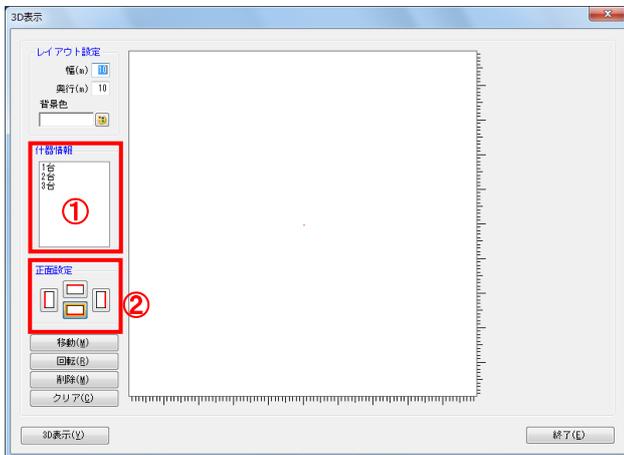
5. まずはどう3D表示をするかの設定を行ないます。

白い四角がフロアとなり、このフロア内に什器を配置していきます。(①)
 フロアの大きさは画面左上の「幅」「奥行」で設定できます。(②) (単位：メートル)
 什器本数が多い場合は広くとり、什器本数が少なく大きく表示したい場合は狭く設定します。



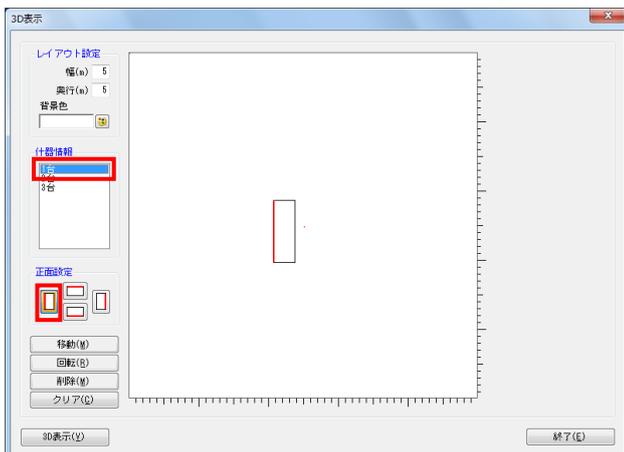
6. 「什器情報」下に表示しているのは棚割モデル内の什器本数です。(①)
 「正面設定」では、什器の正面を左右上下どの位置にするかの設定を行ないます。(②)

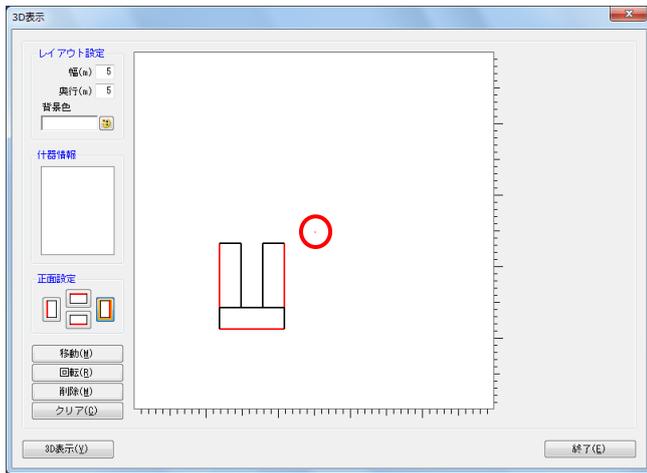
たとえばコの字型に配置する場合、何台目をどの向きにするかをこの「正面設定」で設定します。



7. 什器情報より台をクリックして選択します。

正面設定より選択した台の正面を選択します。
 左側を正面としたいため、左向きをクリックします。

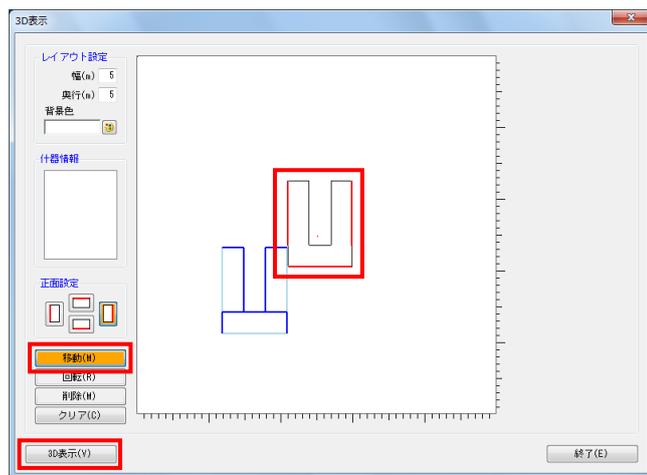




8. フロア上にマウスを移動し、配置したい場所でクリックします。

この時、フロア上にある赤い点が3D空間の中心となるため、赤い点を中心にバランスよく台を配置します。

9. 2台目は下向き、3台目は右向きに配置します。



10. フロアに配置後、台を移動したい場合は「移動」をクリックして移動したい台を選択して移動します。

範囲選択も可能なので、まとめて複数台を移動させることもできます。

11. 設定完了後、「3D表示」をクリックします。

参考

その他、必要に応じて「背景色」で3D表示時の背景（ウィンドウ）色を変更します。
特に棚色が白の場合は、背景色が白だと見辛くなるため、色を付けることを推奨します。



12. 3D表示後、拡大は「+」ボタンまたはマウスを前へスクロール、縮小は「-」ボタンまたはマウスを後ろへスクロールします。

また、マウスを左クリックしたまま什器を左右上下に動かすことができます。



13. 「出力」からは、3D表示を印刷、PDF、画像ファイル出力さらにExcelやPowerPointなど他のソフトに貼り付けるクリップ画像として出力できます。